

富山新港火力発電所の石油パイプラインの点検について

平成24年10月10日
北陸電力株式会社

昨日（10月9日）、富山新港火力発電所の石油パイプラインの配管加温用電気ヒータケーブルの修繕工事中に、誤ってケーブルを損傷させた可能性のあることが判明しました。

今後、ケーブルの点検補修を行うとともに、念のため、パイプライン本管の点検を実施いたします。

この点検補修に伴い、パイプラインの停止期間を延長いたしますが、現状の貯油量および内航船での燃料油確保により、電力の安定供給に支障はありません。

当社は、富山新港火力発電所に燃料油を受け入れしている石油パイプラインの配管加温用電気ヒータケーブルの修繕工事を10月2日から10月13日の予定で実施しております。昨日（10月9日）分の作業終了に伴い、当該ヒータの電源を入れたところ、電流値に異常が検出されたため、ケーブルに何らかの損傷の可能性があると判断いたしました。

原因は、掘削準備のためパイプライン周辺に打ち込んだ土留め用鋼矢板が、ケーブルに接触し、損傷させた可能性があるものと推定しております。

なお、パイプライン本管への影響を確認するため、損傷箇所周辺（射水市有磯地区）にて、ガス濃度測定を実施しておりますが、現在のところ、可燃性ガスの漏出は検知されておられません。

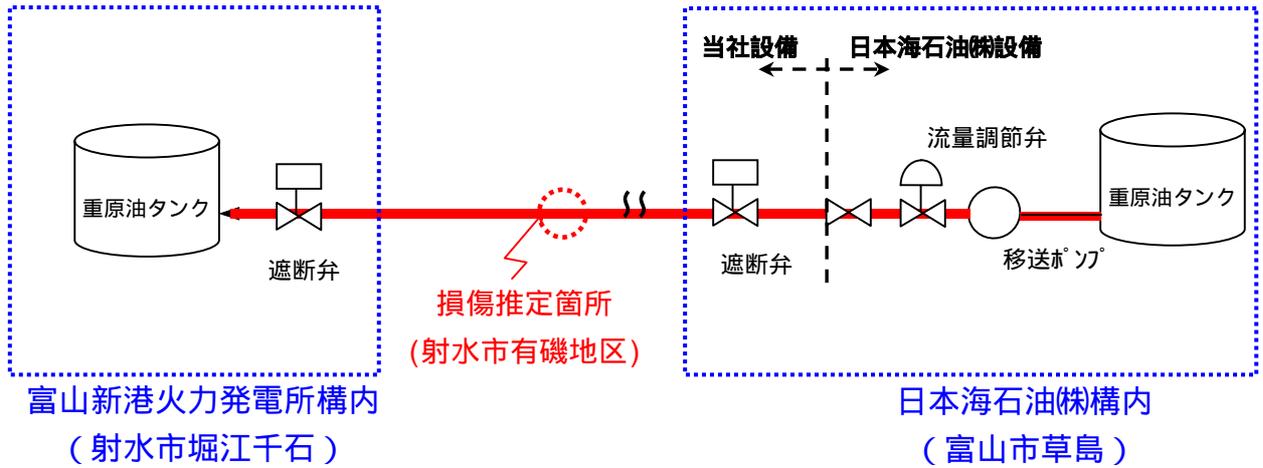
今後、損傷した可能性のあるケーブルの点検補修を行うとともに、念のため、パイプライン本管の点検も実施いたします。

現在、富山新港火力発電所は、1・2号機ともに運転中です。点検補修に伴い、パイプラインの停止期間を延長いたしますが、現状の貯油量で当面必要な量を確保していること、また、内航船での燃料油受け入れを行うことにより、電力の安定供給に支障はありません。

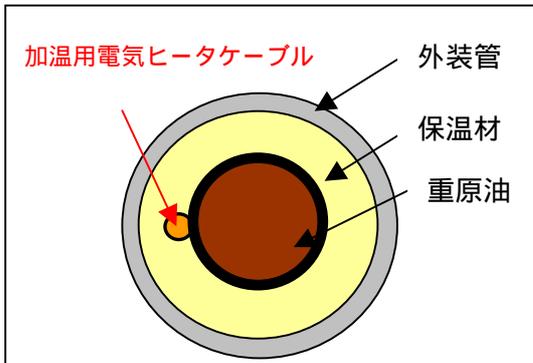
以上

【石油パイプライン 概要】

概略系統



参考図、写真



石油パイプライン断面図



土留め用鋼矢板

石油パイプライン仕様

長さ	: 7.77 km	ルート	: 日本海石油 ~ 四方 ~ 打出 ~ 富山新港火力発電所
外径	: 318.5mm	送油する石油の種類	: 重原油
肉厚	: 6.4mm	送油能力	: 450kl/h (重油の場合350kl/h)
建設時期	: 昭和51年より運転開始		

富山新港火力発電所 概要

	1号機	2号機	石炭1号機	石炭2号機
出力	50万kW	50万kW	25万kW	25万kW
主燃料	重油・原油	重油・原油	石炭・重油	石炭・重油
運開年月	S49年10月	S56年11月	S46年9月	S47年6月